

江津市第3次学校整備再編基本計画（案）説明会の結果について

1. 開催状況

	対象地域	開催場所	開催日 (いずれも午後7時から)	参加人数
1	高角小校区	高角小学校	令和8年7月21日（火曜日）	13人
2	渡津小校区	渡津小学校	令和8年7月22日（水曜日）	21人
3	青陵中校区	青陵中学校	令和8年7月23日（木曜日）	10人
4	郷田小校区	江津市職員会館	令和8年7月27日（月曜日）	31人
5	江東中校区	江東中学校	令和8年7月28日（火曜日）	35人
6	桜江校区	桜江支所	令和8年7月29日（水曜日）	21人
合 計				131人

2. ご意見・ご質問及び回答

No.	ご意見・ご質問	回 答
① 再編計画・長期的視点について		
1	学校整備再編をする理由は。 （高角小校区・地域住民）	学校の規模が小さくなりすぎると、様々な考え方に触れたり、友達と関わり合いながら学んだりする機会が限られてしまいます。一定の学級規模を備えた学習環境を確保することが大切と考えています。
2	5年先、10年先だけでなく、20年先の江津市はどうなるのか危惧される。（高角小校区・地域住民）	どのような状況にすれば子どもたちや地域にとっていいのかを考えています。保護者・子どもたちの意見を聞きながら、江津市にとって良い形を検討しています。
3	多様な価値観に触れるためには統廃合は必要と考えるが、急速に子どもたちが減っている中、どのくらい先を考えて計画しているのか。 （渡津小校区・保護者）	江津市第3次学校整備再編基本計画（以下、「基本計画」）の計画期間は10年間ですが、30年・40年先についてもある程度対応できるものと考えています。将来的には小学校2校となると想定しています。
4	親としては子ども・保護者の意見をもとに粛々と進めてほしい。地域の意見も参考としながらも、やはり当事者の意見を一番大切にしてほしい。 （渡津小校区・保護者）	学校整備の在り方に関する基本方針（以下、「基本方針」）でもお示ししているように、再編にあたっては当事者である児童・生徒、保護者の意見を尊重して、合意形成を図りたいと考えています。
5	令和10年度に郷田小は渡津小に統合するとあるが、校舎は渡津小を想定しているのか。 （郷田小校区・保護者）	そのように考えています。
6	渡津小の校舎の方が新しく、今後児童数も渡津小の方が多くなると思うが、高角小という選択肢もある。渡津小と統合しても高角小を選択する児童が多くなれば統合の効果は薄れる。それならば統合は郷田小の校舎を使えば、数字通りの統合効果が見込めるのではないか。（郷田小校区・保護者）	郷田小の校舎は市内小中学校の中で最も古く、危険性もあることから、郷田小校舎の利用は避けるべきと考えています。したがって、郷田小は渡津小か高角小との統合と考えていますが、渡津小、郷田小とも今後複式学級の発生が予想されています。両校はこれまでも修学旅行などを共同で実施するなど交流があることから、教育委員会としては郷田小と渡津小の統合が妥当であると考えています。なお、郷田小の児童が分散することはできるだけ避けたいと考えています。
7	高角校区と隣接している地域では、悩んでいる保護者や高角小に行くとされる保護者がいる。残念なことだが、地域全体で盛り上げてそうならないようにしたい。（郷田小校区・地域住民）	郷田小と高角小との校区境は明確に区分されています。指定校変更は単に希望すれば変更できるものではなく、許可基準に合致しないと認められません。
8	統合の動きはもう止められないと思う。今回の統合は郷田小の校舎が老朽化して危険だというのが理由だと思うが、郷田の子が渡津小で学ぶというのは抵抗感がある。統合したときに新しい学校にするという考えはないか。（郷田小校区・地域住民）	郷田小と渡津小が統合し新設校とした場合、校名、校章、制服などを新たに考えなければならなくなり、準備期間は3.4年かかることとなります。現在の郷田小校舎の老朽化を考えるとそこまでの猶予はないと考えています。

9	松平小と郷田小が以前統合した。そして今回郷田小と渡津小が統合し、さらに高角小と統合することになる。もう少し効率的にならなかったのか。 (郷田小校区・地域住民)	松平小と郷田小の統合についても、市全体の計画に沿って行われています。この度、津宮小と川波小が統合することになりますが、津宮小に跡市小が統合し、有福温泉小も川波小と統合し、最終的には4校が統合することになります。これは市内、県内、全国で起こっています。長期的に見てもっと効率的・効果的にできればいいのですが、それぞれの地域、当事者の思いを聞く中で、今考えられる最善の案と考え進めているところです。
10	統合や縮小はしょうがないと思うが、渡津小は智翠館高校との関わりがあり、小学生・高校生にも良い影響がある。学校を新設する際には高校との距離感も考慮してほしい。 (渡津小校区・地域住民)	基本方針の中で、学校整備再編に向けた基本的な考え方として、学校と地域との連携・協働を示しています。新設予定の中部の小学校の建築予定地については、市長部局とも連携し、今後慎重に検討します。
11	令和10年4月に統合となると実質1年しかない。子どもたちも保護者も心の整理ができないのではないのか。校舎のことを考えると難しいと思うがもう少し考えてもらえないか。 (郷田小校区・地域住民)	教育委員会内でも統合年度を検討しましたが、校舎・屋内運動場の状況を考慮して10年4月の統合案を出したところです。可能な限り学校や児童・地域の皆様が気持ちよく統合を迎えられるよう支援していきたいと考えています。
12	今後の高角小との統合は恐らく10年程度かかると思う。その時に児童数を維持できるのか。一度に3校統合は無理なのか。 (郷田小校区・保護者)	今現在の3小学校の児童数では、相当大きな小学校を建てる必要があります。最適な土地の確保も現状では難しいことから、一旦、郷田小は渡津小と統合し、数年後にまた2校を統合して新たな小学校を建設することが現在の教育委員会の考えです。
13	個人としては計画には賛成。統合時期を公表している中で、全ての要望を聞き入れると話が進まないの、江津市がリーダーシップをとって進めてほしい。 (郷田小校区・保護者)	この計画案にご賛同いただいた場合、目標が達成できるよう努めます。
14	今年度末に基本計画を完成させるのか。また、住民への説明会は今後も開催されるのか。 (郷田小校区・地域住民)	計画は年内に完成させる予定としています。再度の説明会の開催は未定です。
15	児童生徒数が急速に減少していくが、新設する中部の小学校の児童数はどのくらいになるのか。 (青陵中校区・保護者)	1学年30人前後で全体児童数は200人程度となると想定しています。
16	建てるときは200人規模だがさらに10年後は100人程度になるかもしれない。せっかく建てたのに検討する必要が出てくると思うが、長期的にはどう見ているのか。 (青陵中校区・保護者)	新築予定の小学校については、先を見越した規模感で校舎を建設する必要があると考えますが、建設時には児童数に応じて必要となる教室数を確保する必要があります。
17	アンケート結果によると桜江中も江津に出てきて江津の子と一緒にしてほしいと見れる。義務教育学校として残すとのことだが、中学校は一定の規模が必要と考えている。個人的には青陵中と江津中も部活動のことがあるので一つにしたほうがいいと思う。将来のことを考えると考える必要があるのでは。 (青陵中校区・保護者)	江津東小は部活動の関係や人間関係の固定化を懸念して江津中に指定校変更することが多い状況です。一方で、桜江小は6割以上が桜江中への進学を希望しており指定校変更する子どもはほとんどいない状況から、義務教育学校とすることとしています。
18	計画の見直しの数値的な基準を設けてはどうか。 (青陵中校区・保護者)	複式学級の基準が一つの数値基準だと考えています。
19	令和10年度に江東中が統合することを分かったうえで来年度、江津東小から江東中に子どもを進学させるのは難しい。令和9年度から指定校変更の基準を緩くしてはどうか。 (江東中校区・保護者)	現時点では許可基準の変更は考えていません。統合予定の2校については、令和9年度に交流事業や合同の学校行事等を行いたいと考えています。
20	50年過ぎても補修等をすれば使えないわけではない。空き教室をどう減らしていくか、それにはどのような効率の良い学校建設がいいか検討してもらいたい。 (江東中校区・地域住民)	既存校舎の教室は狭く、ICTを活用した授業への対応が難しい状況です。また、ネットワーク環境の整備等を考えると新しい教育環境を整備することが子どもたちにとっては良いと考えています。
21	桜江小と桜江中が義務教育学校となるのに、なぜ江東中と江津東小ではそれができないのか。 (江東中校区・保護者)	アンケート結果から、江津東小と江東中で義務教育学校とした場合、後期課程から指定校変更されることが多くなることが心配されます。後期過程の生徒が極端に少なくなると、義務教育学校全体の学校運営が困難になることが懸念されることから東部では難しいと考えています。

22	指定校変更せずに江東中に進学した子どもたちの意思はどうなるのか。（江東中校区・保護者）	江東中に進学した子の気持ちは重く受け止めていますが、通学の負担やアンケート結果等を総合的に考えてこの計画案を策定しましたので、ご理解をいただきたいと思ひます。
23	未就学児や小学校低学年の子どもに、江津東小や江東中に行きたいといった意見がたくさんあった場合、どのような対応をするのか。（江東中校区・保護者）	10歳未満の子どもは把握しにくいことから、保護者の意見を伺う機会を設けたいと考えます。
24	通学の負担は理解できるが、大人数のことばかり考えて、少数の子どもを意見をないがしろにしているのではないのか。（江東中校区・保護者）	1人1人の意見を大切にしつつ、全体にとって何が最適かを考えたうえでこの計画案を提示しています。全員が同意されないとは思ひますが、説明には力を尽くしたいと思ひています。
25	江津東小について、完全複式学校となつてからその先の方向性を検討するのではなく、その前から検討していくことはできないのか。（江東中校区・保護者）	意見を踏まえて検討します。
26	学校は地域にとってかけがえのない施設であるが、保護者としては当事者である子どもたちに一番いい形を目指してほしい。（桜江校区・地域住民）	—
27	多くの子どものメリットを総合的に考えた上での方針だと思う。より多くの子どもにメリットがあるように考えたほうがよい。（渡津小校区・地域住民）	—
28	今後江津中も生徒数が減っていくことから、将来的には中部も小中一貫校か義務教育学校として、できるだけ現在の校舎を活用することを考える必要があると思ひ思う。（郷田小校区・保護者）	—
29	教育委員会の考えは基本的には理解できる。郷田小を早急に解体して、跡地に新しい校舎を建設してほしい。できるだけ計画を早く発表すれば保護者も地域も安心すると思ひ思う。（郷田小校区・地域住民）	—
② 新たな学びの形及び教育方針について		
30	桜江小の小規模特認校は川本町（市外）からの通学も認めるのか。（高角小校区・保護者）	現在でも区域外就学制度により市外から市内へ、またはその逆のケースも実際にあります。
31	なぜ再編が必要なのかは理解できる。新たな学びの形の表が分かりにくい、児童・生徒・保護者・教職員にとってのメリット・デメリットをもう少し深掘したほうが分かりやすい。江津東小は小規模特認校となるが校区外からの通学は実際あるとは思ひえないが、なぜ一緒にしないのか。あえて残すのはなぜか。（渡津小校区・地域住民）	アンケート結果や学校の地理的条件により判断しています。
32	地域とともに新しい価値観を創る力を育むことを大切にしてほしい。学校がなくなって一番困ることは地域に誇りを持つ教育をどう実現するかが重要だと思う。（渡津小校区・地域住民）	江津市ではふるさとキャリア教育に力を入れて取り組んでいます。校区内を含め江津市という単位で地域の誇りを育んでいきたいと思ひています。
33	ICTについて、ヨーロッパでは教科書の紙回帰の流れがあり、過度のデジタル化には懸念がある。（渡津小校区・保護者）	ICTのメリットデメリット両方を検討して学習を進めます。なお、SNSの正しい使い方については研修会を実施しています。
34	国際バカロレア等、学校の魅力化についても検討してほしい。（渡津小校区・保護者）	保護者、教職員の負担についても検討しながら研究を進めていきます。
35	小規模特認校について詳しく教えてほしい。また、校区外から通学する場合の交通手段はどうなるのか。（青陵中校区・地域住民）	小規模特認校は市が認定することで設置が可能です。大規模校にない小規模ならではの魅力ある学校ですが、1クラス当たりの人数は少なくなる可能性が高くなります。校区外からの入学は教育委員会が認定しますが、通学については原則保護者が行うことになります。
36	同じ小規模特認校となる桜江小と江津東小の違いはあるのか。（青陵中校区・地域住民）	桜江小は義務教育学校となるので、江津東小とは形態が異なります。また、小規模特認校の義務教育学校とする予定です。

37	江津市でいろいろ選択肢ができ学びたいところに行けるというポジティブな動きは感じるが、10年後20年後の児童数を考える学校数が多すぎると感じる。学校を減らして、規模を小さくして中身を充実させてもいいのではないか。また、校舎を新設するのであれば児童生徒数に合わせて設計手法についても検討してほしい。（青陵中校区・地域住民）	建設中の青陵小は廊下をワークスペースとするなど、津宮小よりも使いやすい設計としています。また、多様な子どもたちのために個別学習室も設けています。
38	小規模特認校について、外部から児童を呼んでくる可能性はあるのか。（郷田小校区・保護者）	小規模の良さを活かして外部から見て魅力ある教育を行いたいと考えています。
39	外部との交流やネットワークを活用するためには小規模特認校は積極的に進めていくべき。学校教育だけではなく地域教育の強化も考えてほしい。（郷田小校区・保護者）	小中学校で特色を出すことは大事ですが、学習指導要綱に基づいた国内どこでも均一の教育を展開することも必要です。両方をバランスよく展開することが重要と考えています。
40	江津東小は小規模特認校となるが、どういった教育方針となるのか。（江東中校区・地域住民）	教育委員会で事細かに教育方針・教育活動を指示することはできないため、赴任する校長とともに話し合っ決めていきたいと考えています。
41	各学校の方針は校長によるということであれば、江津市の教育が校長任せになってしまう。市として特色ある夢のあるような教育を打ち出してほしい。（江東中校区・地域住民）	江津市が目指す教育方針としては、教育大綱を策定しますので、それに沿って考えていきます。
42	完全複式学級の授業の形式等について、学校からでも説明をしてほしい。（江東中校区・保護者）	意見を踏まえて検討します。
43	江津東小はいつ小規模特認校になるのか。（江東中校区・保護者）	複式学級ができるタイミングで小規模特認校にすることを考えています。
44	小規模特認校の説明で「何らかの理由により大規模校に通いにくい」という文言がネガティブに聞こえる。せっかく小規模特認校として残していくのであれば前向きな書き方をしてほしい。（江東中校区・地域住民）	マイナスイメージで受け取られるかもしれません。江津東小の魅力の発信を含めて今後工夫していきます。
45	なぜ小中一貫校ではなく、前例の少ない義務教育学校とするのか。（桜江校区・保護者）	県内に義務教育学校は4校あります。小中一貫校はそれぞれ校長がおり実質別々の学校ですが、義務教育学校は校長は一人で一つの学校、一つの組織となるので一体感を持って学校運営を行うことができます。アンケート結果等を踏まえて判断しています。
46	なぜ桜江で義務教育学校とするのか。（桜江校区・保護者）	アンケート結果を見ても桜江小の卒業生で江津中に指定校変更する児童は非常に少なく、ほとんどが桜江中に進学しており、小中の結びつきが強いことから判断しています。
47	小規模特認校の通学手段はどのようなものになるか。（桜江校区・保護者）	どのくらいの希望者が出るか分かりませんが、現段階では校区外からの通学は保護者に送迎していただくこととしています。
48	統廃合で使われなくなった校舎等を利用して、学びの多様化学校とするのはどうか。（桜江校区・保護者）	本市ではあおぞら学園を設置しており20名程度が通っています。また、桜江地区では桜江小・桜江中で校内教育支援センターを設置して、学校に行きにくい子どものケアをしていることから、現時点では設置する考えはありません。
49	小規模特認校については送迎負担の公的補助の検討をお願いしたい。また、公共交通機関や「のるイコごうつ」などの活用も検討してほしい。（青陵中校区・保護者）	—
50	人数が少ないからこそその良さについても検討してほしい。（江東中校区・地域住民）	—
③-1 学校再編前後の対応方針等について（通学手段について）		
51	登校班に遅れてくる子が多い。高角小・渡津小・郷田小を統合する場合、スクールバス通学となるが、乗り遅れた場合の対応はしてもらえるのか。（高角小校区・保護者）	スクールバスへの乗り遅れ等の個別事情への対応は難しいと考えます。
52	江津東小から江津中に進学した人の送迎の負担を軽減してほしい。（渡津小校区・保護者）	保護者の負担は把握していますが、統合が実現すればスクールバスが運行できるため、できるだけ早期の統合を提案しています。

53	スクールバスの運行を統廃合の交換条件にしているのではないかと。統廃合を待たずに柔軟な運行を行うべき。（渡津小学校・地域住民）	スクールバス運行の3Km以上を厳守していることはなく、統合の交換条件とも考えていません。指定校変更した際の通学方法については事前に説明を行い、保護者の同意を得ています。現状を踏まえて統合をせざるを得ないと考えています。
54	制服や体操服はどちらか一方に決めた方が保護者の負担が少ない。また、スクールバスの停留所はどのあたりにするか考えているか。（江東中校区・保護者）	制服・スクールバスの運行については統合決定後の準備委員会で議論して決定します。過去の事例として、統合前の制服の着用を認めた例もあります。
55	現在指定校変更をして市外から江津東小に通わせていて送迎をしている。小規模特認校となった場合、スクールバスを利用することができるのか。（江東中校区・保護者）	小規模特認校となった場合でも保護者に送迎していただきます。
56	小規模特認校について、校区外から児童生徒を受け入れると言いつながら送迎がないのはどうか。特例でいいのでは。（江東中校区・地域住民）	現時点では、保護者に送迎していただくこととしています。
57	江津中に通っている生徒は何人いるか。路線バスの時間帯もいいので、定期代を補助してはどうか。（江東中校区・地域住民）	20人程度です。現時点では、補助等は考えておりません。
58	江津中と統合した場合、スクールバス等は考えているのか。（江東中校区・保護者）	当然検討します。
59	統合した場合の通学手段について明確にしていきたい。（江東中校区・保護者）	統合するまでは保護者に送迎をしてもらうこととなりますが、統合後はスクールバスに乗車できることとなります。
60	途中で統合された場合、通学手段はどうなるのか。（江東中校区・保護者）	スクールバスの利用が可能になります。
61	統合させたいのであれば交通費の補助などを早めにしてはどうか。（江東中校区・地域住民）	統合までは保護者の責任において対応していただきたいと考えています。
62	令和10年に統合が決定しているのであれば、現在江津中に通学している生徒に対してもスクールバスを運行してはどうか。（江東中校区・地域住民）	指定校変更の際に保護者の意向は確認済みで、統合前は卒業まで送迎をしてもらうことになっています。
63	スクールバスを使うのではなく路線バスを活用すれば地域にとっても良いのではないかと。（江東中校区・地域住民）	（回答なし）
③-2 学校再編前後の対応方針等について（制服等について）		
64	統合した場合、制服について負担はかからないように進めてほしい。（渡津小学校・保護者）	制服等については準備委員会等で検討されます。できるだけ保護者に負担がかからないように進めていきます。
65	統合すると制服や通学路が変わるなど保護者にとっては心配がある。保護者負担を軽減するよう柔軟に考えてほしい。（郷田小学校・保護者）	統合が決定した後に統合準備委員会を立ち上げて、様々な事項を検討していく予定です。できるだけ保護者に負担がかからないように進めていきます。
③-3 学校再編前後の対応方針等について（その他）		
66	小規模の小学校から江津中に進学して人数の多さに萎縮してしまう様子があると先生から聞いたことがある。郷田小と渡津小が合同の学校行事などで交流をしていると聞いたが、江津東小でも近隣小学校との交流を実施してほしい。（江東中校区・保護者）	中学校入学を見据えた学校間の交流ができるよう検討します。
67	小規模特認校である江津東小卒業後、大規模な江津中に進学するとなじめないのではないかと。（江東中校区・地域住民）	小規模特認校での6年間の教育を通しては多様な人との関わりはなかなか持てないとは思いますが、その6年間で成長する部分もあります。また、桜江義務教育学校の後期課程に入学する選択肢もあります。
68	桜江では保育園から中学校まで12年間同じメンバーとなってしまう、中には人間関係でつまづく子もいる。そういった悩みを抱える子どもに対してサポートをお願いしたい。（桜江校区・保護者）	常駐ではありませんが、スクールカウンセラーを11校全てに配置しています。また、隣接校と学校行事を合同で行うことも検討します。
69	部活動など、子どもたちが桜江にいたがやりたいうことをやれるような環境にしていきたい。（桜江校区・保護者）	部活動については検討委員会を立ち上げて議論しているところです。体験格差が生じないようクラブ化や拠点校化を行っています。
70	統合準備にあたって保護者に期待されることは何か。（桜江校区・保護者）	桜江地区は学校に対する支援は充実していると思います。統合後も引き続きご支援していただけたらと思います。

④ 教職員の負担等について		
71	保護者・児童生徒だけでなく、現場の教職員の意見も尊重した方がよい。（高角小校区・保護者）	基本方針の策定にあたってはアンケートを実施し、教職員にも意見をいただいています。教育委員会としては、保護者と児童・生徒の意向を尊重したいと考えています。
72	新たな学びの形について、教職員の負担については配置次第ではないのか。また、統合した場合教員一人当たりの児童生徒数は増えるのではないのか。（渡津小校区・地域住民）	教職員の数は法律により学級数によって決められています。児童・生徒の立場に立てば、人数が多い学級で育った方がよいと考えています。
73	教職員に負担がかからないような形で統合を進めてほしい。（郷田小校区・地域住民）	教職員の負担が大きくなるよう教育委員会としてもサポートしていきます。
⑤ 市財政について		
74	多額の経費が掛かると思うが事業費の検討は今後なされるのか。教育委員会として強力に市長部局に働きかけるべき。（渡津小校区・地域住民）	教育委員会だけで検討しているのではなく、庁内検討委員会でも並行して検討しています。
75	財政についてほとんど触れられていないが、一つの校舎を建てるのではなく、3つの平屋の校舎を建てることも可能なのではないか。（渡津小校区・地域住民）	複式学級の発生防止を優先に検討しているため、3つの校舎を建てることは考えていません。
76	中部の3校を統合して新校舎を建てるとのことだが、市の財政的に心配。（郷田小校区・保護者）	財政についても慎重に検討を重ねる必要がありますが、現状の老朽化した校舎を多額の経費をかけて修繕を重ねて維持することには限界がありますので、ご理解をいただきたいと考えています。
77	学校再編はこの少子化の中ではしょうがないと受け止めているが、中部に建設する新校舎について、財源は確保できるのか。（江東中校区・地域住民）	財源については、市長部局とも協議の上、確保していきたいと考えています。
78	学校教育と江津市の財政基盤の両面で検討してほしい。（江東中校区・地域住民）	—
⑥ 説明会等市民への情報提供について		
79	今日出た意見は計画に反映されるのか、地域の方と一緒に議論を行っていくべきではないのか。（渡津小校区・地域住民）	本日を含めて6回開催される説明会で出た意見を次の検討委員会で委員に伝え共有します。それを踏まえて答申をいただき、それを計画案に反映させて、総合教育会議等を経て策定されることになります。
80	新聞での報道で統廃合について知り、子どもたちも動揺している。この計画はどこまでが決定されているのか。（郷田小校区・保護者）	まだ案の段階であり、決定されているものではありません。
81	基本的な考えに子ども・保護者等の「当事者」とあるが、当事者は毎年変わる。アンケートは随時やってほしい。（郷田小校区・地域住民）	保育所アンケートを取らなかったのは反省点としてします。今後、保護者と意見交換する場の設定を検討したいと考えています。
82	今後保護者の意見を聞くタイミングはあるのか。（江東中校区・保護者）	今後検討します。
83	計画策定の手順について、委員会に平行して各地域コミュニティにヒアリングをしていくべきではないか。（江東中校区・地域住民）	基本方針策定時にヒアリングを実施しています。今後も様々な機会をとらえて意見を伺う予定です。
84	説明会は今後も開催されるのか。（江東中校区・地域住民）	今回で最後ではないと考えています。特に保護者への説明は必要と考えています。
85	全保護者・地域に向けて説明会資料を共有してほしい。（江東中校区・保護者）	意見を踏まえて検討します。
86	説明会はもう少し集まりやすい時間にするか学校行事に合わせるなどの工夫をしてほしい。（青陵中校区・地域住民）	—
⑦ その他		
87	周辺市町村の動向も教えてほしい。（青陵中校区・保護者）	どこの市町も統廃合については頭を悩ませています。大田市でも学校再編を行っており毎年のように小学校を中心に統合を進めています。浜田市や邑智郡でも検討されています。

88	基本方針のパブリックコメントに対する回答を示してほしい。（渡津小校区・地域住民）	基本方針に関するパブリックコメントの結果については早急に公表します。
89	基本方針を変更していないということだが、パブリックコメントを実施した意味はあったのか。（渡津小校区・地域住民）	パブリックコメントの意見をもとに検討しましたが、方針を変えるには至りませんでした。
90	地域とともに新しい価値を育むとあるが、地域から学校が無くなれば江津市が目指す姿と矛盾するのではないのか。（渡津小校区・地域住民）	地域のバランスも考えながら建設予定地については議論を進めます。
91	学校別の不登校の児童生徒数を出してほしい。（渡津小校区・地域住民）	学校の序列化や良し悪しの判断に安易に繋がってしまうことが懸念されるため示すことは難しいと考えます。
92	どのような学校で不登校の割合が高くなるのかを示してほしい、本当に人数が多ければ不登校は少ないのか。（渡津小校区・地域住民）	不登校児童の出現率は学校の規模によらないと考えています。
93	部活動を学校単位ではなく地域単位で実施することは検討しないのか。（渡津小校区・地域住民）	現在、部活動の地域展開を進めています。十分ではありませんが、クラブ化も進んでいます。江東中では拠点校方式の提案もしましたが残念ながら利用する生徒はいませんでした。
94	児童の放課後の過ごし方、居場所を確保することは重要。郷田も渡津も児童クラブがあり運営主体が違うが、今後の児童クラブのことはどう考えているのか。（郷田小校区・地域住民）	児童クラブは基本的に小学校単位で設置されます。統合が決定した後に慎重に検討したいと考えています。
95	基本方針に関するパブコメの周知が足りなかったのでは。（郷田小校区・地域住民）	周知については、江津市のホームページ、公式LINE、地域のコミュニティセンター、テトルでの保護者案内など可能な限り周知したつもりですが、十分ではなかったと思います。今後方法を検討します。
96	コンサルのさとゆめは具体的に何をしているのか。（郷田小校区・地域住民）	コンサルとして参加していただいたのは、アンケート集計であったり、会議議事録の作成など事務的なバックアップをしてもらっています。青陵小の建設と同時進行ですのでマンパワーが足りていないことから、事務的なサポートしていただいています。
97	学校統合にあたっては、教育と地域の活性化の2つを重視する必要がある。防災・交流の場がなくなることになるが、跡地の活用方法は決まっているのか。（江東中校区・地域住民）	郷田小、川波小、桜江中は老朽化により解体する方向で考えています。その他の廃校舎については、今後市長部局と協議しますが現時点では白紙の状態です。
98	計画策定にあたっては、立地適正化計画など他の個別計画の見直しを含めて検討しているのか。（江東中校区・地域住民）	策定にあたっては庁内検討委員会を立ち上げて、跡地の活用を含めて並行して議論しています。他の計画については必要があれば見直しをされるものと考えています。
99	検討委員会にPTAの代表は何人いるのか。（江東中校区・保護者）	委員10名中、2人がPTAの代表となっています。
100	保護者の意見を十分に反映させるため、PTAの委員を増やすことはできないのか。（江東中校区・保護者）	保護者の意見を把握するためにアンケートを実施しています。検討委員会はすでに昨年度から動いていることから、今から委員の構成を変えることは難しいと考えます。
101	47年は税法上の耐用年数か。（江東中校区・地域住民）	補助金適正化法上の処分制限期間であり、それを過ぎたとしてもすぐ危険で使えないというわけではありません。
102	現在、桜江中の体育館が地域の避難所となっている。校舎も活用したいと思うが、体育館だけが避難場所になるのか。（桜江校区・地域住民）	校舎は築年数が経っており、解体する方向性で検討しています。
103	避難場所について、体育館は夏場とても暑いので対策をしていただきたい。（桜江校区・保護者）	小中学校については、建設中の青陵小の体育館はエアコンを設置する予定としています。他校についても教育環境の格差解消のため順次体育館にエアコンを設置する方向で検討しています。避難所についても、今後検討されるものと考えています。
104	江東中の跡地の活用方法についても示してもらえた方が良かった。（江東中校区・地域住民）	—
105	新校舎など大きな事業だけではなく、エアコンや照明など身近な部分についても対応してほしい。（江東中校区・地域住民）	—

106	地域活性化については別途説明会を開いてほしい。 （江東中校区・地域住民）	—
107	アンケート調査では今のことを考えて、10年後 20年後のことを考えて回答している人は少ないので はないか。（青陵中校区・地域住民）	—